

令和6年4月30日（月）

部活動保護者会資料

調布市立第五中学校
校長 小坂 力

ごあいさつ

日ごろから、本校の教育活動について、御理解・御協力いただき誠にありがとうございます。また、本日は御多用のところ部活動保護者会に御参会いただき、感謝申し上げます。

さて、部活動は、教育課程外の活動ではありますが、大変教育的意義の深い重要な教育活動であります。

東京都は部活動について、次のように示しています。

部活動とは、学校教育の一環として、教育課程との関連を図り、校長が認めた指導者（顧問）のもと、生徒の自主的、自発的な参加により、主に授業後や休日等に行われる課外活動である。部活動は学校が設置するものであることから、顧問と生徒が共に信頼し合い、共通の目標の下に、活動するものである。

この部活動は、スポーツ・文化・科学・芸術等に興味・関心をもつ同好の生徒が、学級・学年を越えて組織し、一定のペースでスポーツに親しんだり、信頼できる友達を見付けたり、部員同士の切磋琢磨や自己の能力に応じてより高い水準の知識・技能や記録等を追究したりするなどの活動を通して、豊かな学校生活を自ら創造する活動である。

この示された方針のもと、本校においても一生に一度しかない中学校生活をより豊かなものにするために、安全・安心を第一に教職員一丸となって取り組んでまいります。

しかし、一方で近年以下のような課題が重要視されています。

しかし、今日において、社会・経済の変化等により、教育等に関わる課題が複雑化・多様化し、学校や教員だけでは解決することができない課題が増えている。部活動においても、従前と同様の運営体制では、維持は難しくなっており、学校や地域によって存続の危機にあり、部活動の在り方に関し、合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進に向けた抜本的な改革に取り組む必要がある。（東京都教育委員会）

教員は「教科」で採用されており、異動があるため、全ての部活動の需要に対して、指導者を確保することが難しいという実態です。また、報道でもある通り、これらの課題を克服するために、国や自治体が示す部活動の地域連携・地域移行が始まってきています。

本校としては、生徒や保護者のみなさまの期待に添えるよう、最善を尽くしますが、現状の課題についても御理解・御協力いただきたいと思います。

結びに、部活動を通して、本校の教育目標である「徳」「知」「体」を生徒がバランスよく身に付け、

目指す学校像「生徒一人一人に居場所があり、安心・安全で自分の力を伸ばせる学校」のための教育活動を推進してまいります。

生徒の充実した学校生活のために、今年度1年間よろしくお願い申し上げます。